佐世保市危険物安全協会会報

協会だより

36
2014

平成26年佐世保市消防出初式での観閲行進　平成26年1月6日

CONTENTS

ごあいさつ

平成25年を振り返って……1

自衛消防隊研修課程……4

一日視察研修……6

会員事業所紹介……8

ガソリン携行缶について……10

事務局からのお知らせ……12

第36号◆平成26年2月発行

● 発行責任者 ●

佐世保市危険物安全協会

〒857-0056　佐世保市平瀬町9番地2

（佐世保市消防局予防課内）

TEL.0956-23-9257

メールアドレス

hpwxg672@yahoo.co.jp

ごあいさつ

佐世保市危険物安全協会
会長 坂倉 雅敏

平成２６年の新春を迎え、早１ヶ月が過ぎましたが皆さま方におかれましては、新しい気持ちで仕事に邁進されていることと思います。また、日頃から当協会へのご賛同、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年はアベノミクス効果による円安の進行や株価の上昇、各種経済指標にも改善の傾向がみられるなど、日本経済が回復へ向かう兆しが見えた年となりました。また、富士山の世界遺産登録、２０２０年東京オリンピック開催決定など、日本中に夢と希望を与えられた年でもありましたが、石油業界におきましては、燃料油販売量は、電力用重油の需要減に加え、自動車の燃費改善などを受けたガソリンや軽油等の需要が減少し、いまだ厳しい状況が続いています。

今年は、４月からの消費税率アップによる個人消費の低迷、景気後退と経済に逆風となることが予想され、企業の安全対策への後退が懸念されます。

昨年、京都府福知山市ではガソリン携行缶に起因し、多数の死傷者が生じた火災が発生しました。幸い、当協会内においては大きな事故等は発生しておりませんが、どのような時代の中にあっても、私たちは危険物に起因する災害の防止に努めなければなりません。

本年秋には長崎県において「長崎がんばらんば国体」や「長崎がんばらんば大会」が開催されます。当協会としても大会の成功を応援したいと思います。

最後に今年も厳しい情勢が続くことが予想されますが、皆様方におかれましては、逆境に立ち向かい奮闘され、何事も「ウマくいく」ことを期待し、本年が皆様にとって実り多き年となりますよう、心より祈念申しあげまして、あいさつといたします。

平成25年を振り返って

佐世保市危険物安全協会総会
（4月26日　グランドベルズ）

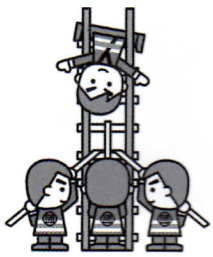
長崎県危険物安全協会総会
（6月17日　長崎市）

危険物施設訓練（6月5日 危険物安全週間中　大東タンクターミナル㈱）

自衛消防研修課程入校（10月30日・31日　大村市 長崎県消防学校）

一日視察研修（11月14日　島原市 ジオパーク・雲仙災害記念館）

普通救命講習（7月・10月・2月　佐世保技能会館）



消防出初式（H26年1月）

祝 長崎県危険物安全協会会長表彰

平成25年6月17日長崎市において増本石油㈱様と㈱霜田塗料産業様が会長表彰を受けられました。

受賞された皆さん

感謝状贈呈

㈲渕石油商会の渕 源治様と㈱富永石油店の冨永幸七様のお二人に感謝状が贈られました。

渕様は昭和36年の協会発足当初から52年間、冨永様も43年の長年にわたり協会のためにご尽力いただきました。お二人のご労苦に対し佐世保市危険物安全協会から感謝状が贈られました。大変ご苦労様でした。

渕　源治 様

冨永　幸七 様

自衛消防隊研修課程

県内事業所の自衛消防隊を対象とした研修課程が、昨年の10月30日と31日の両日、長崎県消防学校で1泊2日の日程で行われました。この研修課程は今回で第111回目を数え、佐世保市危険物安全協会から3名の方が参加されました。入校された２名の方にご感想を伺いました。

自衛消防隊研修課程を終えて

ハウステンボス㈱
村井 芳嵩 さん

『訓練で出来ないことは実戦でも出来ない』―― この教訓は今回、担当頂いた教官から私の最も心に残った一言でした。

私はテーマパークである、ハウステンボスの中で園内の救護活動や様々な有事事案を対応する部署に所属しています。私自身配属されてまだ日が浅くはあるものの、消防に関する知識を学び、またいろいろな店舗や施設の消防訓練を指導する立場の中で、少なくとも訓練に関してはマニュアルを繰り返し覚え、多少の自信は持っているつもりでした。しかしながら今回の総合訓練にてその自信は見事に粉砕され、認識の甘さを痛感することとなりました。

総合訓練の中での動きは日ごろから周知しているつもりでしたが、今回の総合訓練で、①煙がある状態では視界が遮られ、また心理的プレッシャーで火元の特定がとても困難だったこと、②通路途中に倒れていたケガ人と火元確認のどちらを先に対応すべきなのか判断ができなかったこと、③仲間同士の連携が大切だと頭ではわかっていても実際には言葉も満足に出せない、情報の伝達すら上手く出来なかったこと。

まさにこれが実際の火災なら間違いなく…最悪のケースを思い浮かばせる結果でした。

教官の言葉の中で、「この総合訓練を経て普段やっている訓練が甘いものだと認識したらそれは今からでも遅くはない。ぜひ今後の訓練に生かしてほしい。訓練では失敗してもいい。しかし、訓練で出来ないことは実戦でもできない。」まさにその通りだと身体で感じました。頭の中で思う以上に様々な事態が起こり得るものと心得ておく必要があると。

この体験を自分の中だけでしまっておくことはとても勿体ないことであり、会社の中で少しでもこの体験を周囲に伝え、また、暗室体験や燃焼室体験などの貴重な体験も含めて消防訓練に活かしていきたいと思います。最後に、普段では体験できない経験を与えて頂いた教官に感謝するとともに、実際の火災・救急の現場で活躍されている消防隊の皆さんの存在がとても頼もしいものであると感じました。

今回、未熟な私達をご指導頂き、ありがとうございました。

自衛消防隊研修課程に入校して

佐世保重工業㈱
濱口 芳幸 さん

まずは、１泊２日での研修、貴重な体験をさせて頂きましてありがとうございました。

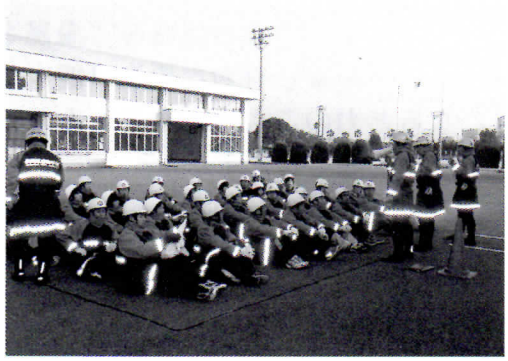
講師をして頂いた教官方々の熱のこもった研修、訓練、指導、大変感謝しています。

自分がまず感じたことは、色々な業種の人が研修に参加されている事に驚きましたが、同時に自分との温度差の違いも感じました。自分は仕事では、廻りが騒音でうるさい造船所で安全を担当している者ですから、普段から大声を出すこと、指差呼称、相互声かけなどには慣れていますが、ほとんどの研修参加者は、大声を出すこと、相互声かけなどに慣れてなく、声が全然出ていなかった。しかし、数々の訓練をしていく内に、掛け声の声も少しずつ出てきて、2日目には、積極的に相互声かけなども出来るようになっていきました。

最後の総合火災避難訓練では、教官から「訓練で出来ないことは本番で緊急時に慌てて何も出来ない。もっと真剣に取り組むように。」と指導をいただき、わずか10分の作戦会議で班員全員が個々の役割や避難者の捜索方法を話し合い、誘導の手順や優先順位を決めたりして、訓練に臨み、みんな真剣に汗だくになりながら取り組み、大声で避難者の誘導、捜索、相互の連携や連絡、報告も出来るようになりました。

年齢も職種も違う人たちと、1泊2日、1部屋5人の共同生活もキャンプみたいで楽しく、仕事や遊び、他の研修でのエピソード等、色々な話をして親睦を深められて、すごく楽しかったです。今後は、安全と消防、両方の立場で現場を指導していくように心がけ、緊急時も慌てずに研修で学んだ事を活かせるようにしていきたいと思います。

最後に、もう一度、貴重な体験をさせて頂きまして、本当にありがとうございました。



参加事業所の皆さん。大変お疲れ様でした。

お 名 前	事 業 所	所 在 地	部会名
村井芳嵩 さん	ハウステンボス㈱	佐世保市ハウステンボス町1-1	営業部会
濱口芳幸 さん	佐世保重工業㈱	佐世保市立神町無番地	自家用部会
廣川美和 さん	国際石油サービス㈱中里SS	佐世保市上本山町1011-1	営業部会

研修は、「防火管理」に関する講義や、「初期消火訓練」や「耐熱耐煙訓練」、「救急処置訓練」、「地震体験訓練」など、体力・気力的にも厳しいものとなりましたが、参加された皆様は貴重な体験をされたのではないでしょうか。

「一日研修に参加して」

中国塗料㈱佐世保営業所
所長　田村　浩

私は、8年駐在したドバイから帰国し、新天地である佐世保の街で、地元企業の方と懇親できる機会と捉え、昨年から一日視察研修に参加させて頂いております。

今回の一日視察研修は、危険物安全協会殿と防災協議会殿の合同視察研修でしたので、参加人数も約30名と多く、さらに保育園にお勤めの女性も数名参加され、和やかな雰囲気で始まりました。

最初の研修先は、小浜温泉バイナリー発電所といい、環境省が後援する温泉発電実証事業で、今年4月に実証実験が始まったばかりの施設でした。

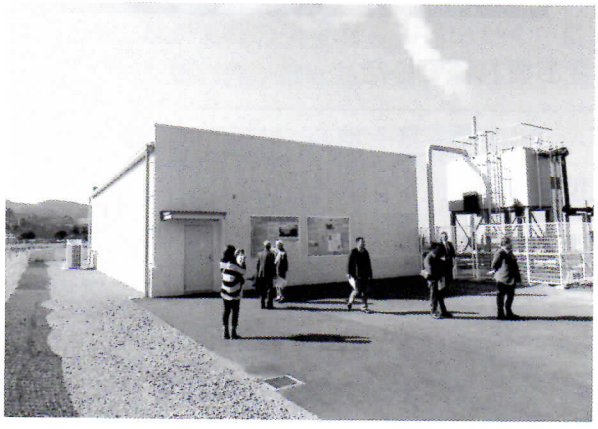
私も小浜温泉を訪れるのは初めてではありませんが、正直に申しますと今回の研修がなければ、素通りしてしまうような場所でした。

当日は、環境省から事業受託した㈱エディットの井手さんのご案内で施設を見学しました。島原半島にある三つの温泉のうち、マグマ溜りに一番近い小浜温泉は、1日に湧き出す温泉水の量が約1万5千トンで、その約7割が海に捨てられているそうです。

温泉バイナリー発電とは、その温泉水で沸点の低い液体を沸騰させ、その蒸気圧でタービンを回して発電する方式です。

井手さんによれば、循環ポンプまで送るパイプが、温泉水の成分である湯の花で詰まってしまうので、定期的な清掃作業が欠かせないそうです。実際に湯の花で詰まったパイプの重さを見学者に実体験させてもらうと、日々のご苦労と同時に、温泉水が枯渇することのない有力な再生可能エネルギーになると力のこもった井手さんのご説明に、私は共感を覚えました。

小浜から雲仙まで大型バスで移動する間、バスの車窓から、紅葉スポットで有名



な仁田峠を眺めることができました。残念ながら、見ごろから1週間遅れでしたが、それでも晩秋の雲仙の景色は、とてもきれいでした。

雲仙から島原へ移動し、がまだすドームを見学、平成大噴火シアターでは、雲仙・普賢岳噴火に伴う火砕流と土石流を14メートルのドーム型スクリーンで再現され、映像と連動して床が動くなどの災害擬似体験が出来、自然のスケールの大きさに驚愕しました。

日本で唯一の火山体験ミュージアムだそうですが、自然の驚異と災害の教訓を記憶から風化させることなく後世に残していくためには、非常に重要な施設だと実感しました。

前回に引き続きエネルギー関連施設を見学し、再生可能エネルギーについて、これまで以上に関心を持つようになりました。また地元企業の参加者とお話もできたので、有意義な一日でした。

企画立案から研修当日まで、協会の役員様に大変お世話になり、心からお礼申し上げます。次回も是非参加させて頂きたく、宜しくお願い申し上げます。

西から東から ～会員事業所のご紹介～

このページでは、会員事業所のご紹介をします。今回は、佐世保市江迎町と西海市大瀬戸町を訪ねました。

佐世保市江迎町

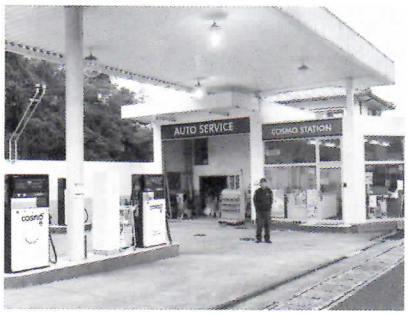
本陣屋敷

千灯籠まつり

平戸市との境に位置する江迎町は、北松浦郡に属していましたが2010年3月31日、鹿町町とともに佐世保市へ編入合併しました。町域は江迎川が東から西へ横断し、北西部は半島に切りこんだ江迎湾に接し、北部・南部は丘陵地が広がっています。また、県指定史跡の「江迎本陣屋敷」があり、歴史の浪漫が漂う風情ある町でもあります。

毎年8月23、24日に行われる日本一の灯籠まつり「千灯籠まつり」では、高さ25mを誇る灯籠タワーや街路を燈す1万個の灯籠などは圧巻で、江迎川周辺では花火大会も開催されます。

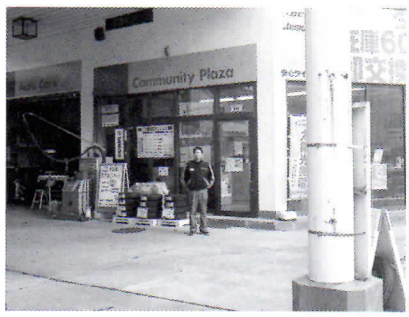
今回は、有限会社 末吉商店様、株式会社 エヌ・エス・シー様、宮地石油株式会社様をご紹介します。



有限会社　末吉商店 さん

昭和31年に開業し、現在地には昭和42年11月に移り、今日に至っています。先代社長から危険物に携わり、取り扱いには十分注意し事故防止に努めています。

お客様には笑顔と元気な挨拶、気持ちよく対応することをモットーに毎日頑張っています。



株式会社　エヌ・エス・シー さん

国道204号を平戸へ向かう途中の江迎町にあります。

IDEXグループのセルフスタンドで「地域密着」「安心・安全・安定供給」を目指してスタッフ一同頑張っています。

お気軽にお立ち寄りください。

宮地石油　株式会社 さん

お客様に安心・安全・快適さを提供できるような店づくりを心掛けて日々努力しています。

当社は創業60周年を迎え、これからもより一層、笑顔と元気で地域密着店を1番に目指して頑張っていきます。

今後とも宜しくお願いします。

西海市大瀬戸町

つがね落としの滝

音浴博物館

大瀬戸町は、昭和30年から平成17年まで西彼杵郡に属し、現在は周辺の4町(西彼町、西海町、大島町、崎戸町)と合併し、西海市大瀬戸町となっています。西彼杵半島の西部に位置し、角力灘・五島灘に面した丘陵地と、有人島である松島をはじめとする島々が主な町域です。

風光明媚な海岸線など自然が豊かで景観もよく、気候も温暖ですので過ごしやすい環境です。特に海岸線沿いを通る国道202号線は絶好のドライブコースで、夕暮れ時には水平線に消える夕日を楽しむことができ、多くの人々に人気を博しています。また、長崎百景にも選ばれているつがね落としの滝や、アナログレコードなど16万枚を所蔵する音浴博物館など、観光資源にも優れています。

今回は、大瀬戸町におられる会員様の中で電源開発株式会社様、山口石油店様をご紹介します。

電源開発　株式会社 さん

昭和56年に運転開始以降32年間、地域の方々と共生し、100万KWの電力を供給。これからも所員一丸となり安定供給に努めます。

昨年50周年記念大会である大瀬戸町ペーロン大会では皆様の応援を頂き、見事優勝を果たしました。

山口石油店 さん

昭和48年より松島行き市営桟橋近くで営業を開始し、長年、地域の方々にご愛顧いただいております。

今後も、親しまれるスタンドを目指し営業していきたいと思います。

今回は、佐世保市江迎町と西海市大瀬戸町の会員様をご紹介しました。
皆さん、年末年始にかかる多忙な時期にもかかわらず、取材や投稿の依頼の際にはこころよく対応していただき、本当にありがとうございました。皆様のますますのご活躍をご祈念いたします。

ガソリン携行缶を安全に取り扱うための留意事項

平成25年8月15日に京都府福知山市花火大会で多数の死傷者を出す火災が発生しました。多数の観客等が至近にいる中で、露天業者が使用していたガソリン携行缶からガソリンが噴出して大きな被害を生じた可能性が高く、ガソリン携行缶を安全に取り扱うために更なる注意喚起をお願いします。

1. ガソリン携行缶は、直射日光の当たる場所や高温の場所に置かないこと

夏季はもちろん、それ以外の時期でも直射日光の当たる場所や高温の場所にガソリン携行缶を置くと、ガソリン液体又は可燃性蒸気が大量に噴き出す可能性があるため、日陰の風通しの良い場所にガソリン携行缶を置くことを徹底する必要があります。

2. ガソリン携行缶を取り扱う場合は、周囲の安全確認とエンジン停止を徹底すること

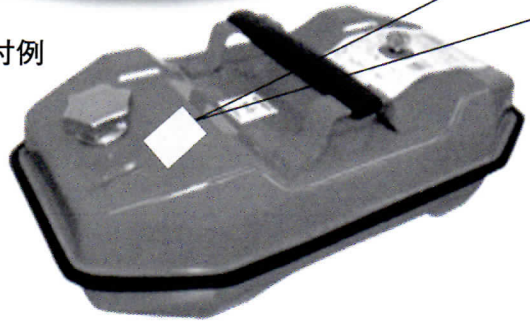
ガソリン携行缶を取り扱う場合は周囲に火源になりそうなものがないことを確認するとともに、万が一、火災になっても延焼拡大や人的被害が生ずるおそれがないことを確認する必要があります。特にガソリン携行缶を用いて発電機等にガソリンを注油する際には、ガソリン携行缶の蓋を開ける前に発電機等のエンジンを停止してください。

3. ガソリン携行缶の蓋を開ける前に、エア抜きを行うこと

日陰の風通しの良い場所にガソリン携行缶を置いてあっても、外気温の上昇に伴いガソリン携行缶内の圧力が高くなっている可能性があり、ガソリン携行缶の蓋の開放に伴い可燃性蒸気が噴き出す可能性があることから、ガソリン携行缶の蓋を開ける前に、少しずつエア抜きを行ってください。

管内のガソリンスタンド等において、顧客がガソリン携行缶にガソリンを注油しに来た際に、注意表示シールの貼り付けをお願いしています。

貼付例



！噴出注意！

★周囲の安全を確認
★フタをあける前に
①エンジン停止
②エア抜きをする
★高温の場所禁止

（一財）全国危険物安全協会

縦51×横68mm

※平成25年12月以降においては当該表示がなされたガソリン携行缶が製造販売されることになっています。

ガソリン携行缶

正しく使う6つのポイント！

❶危険性について

ガソリンは気温が－40℃でも気化し
小さな火源でも、離れていても引火し
爆発的に燃焼する物質です

軽油は＋40℃で気化します

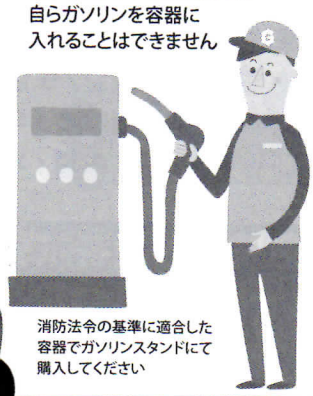
❷容器について

灯油用ポリエチレンかんにガソリンを
入れることは非常に危険です

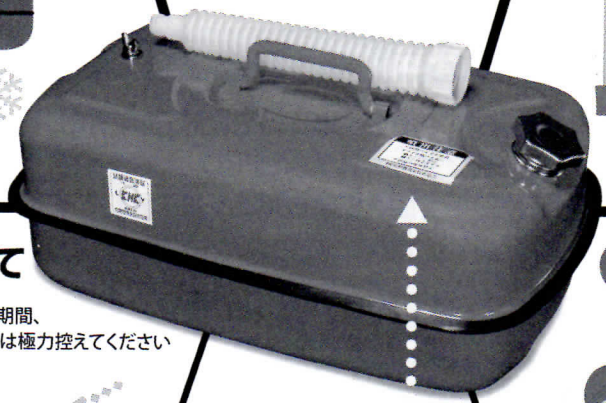
ガソリンを入れる容器は消防法令により一定の強度のある材質を使用することと容量が制限されています

❸購入について

セルフスタンドでは利用者が
自らガソリンを容器に
入れることはできません



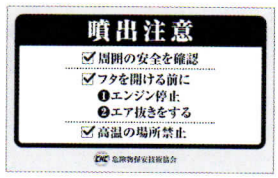
消防法令の基準に適合した容器でガソリンスタンドにて購入してください



❹保管について

ガソリンを容器に入れて、長期間、
または不必要に保管することは極力控えてください

ガソリンは、揮発性が極めて高く火災が発生すると爆発的に広がるので、直射日光や高温になる場所には保管しないでください



❺噴出事故防止について

ガソリン噴出は事故につながります
取扱いには十分注意してください

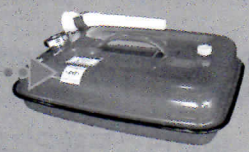
❻取扱いについて

使用時には取扱説明書をよく読み
適正な取扱いをしてください

パッキンの劣化、キャップの締め方の不備等注入口からの漏れによる危険物漏えい事故の報告があります

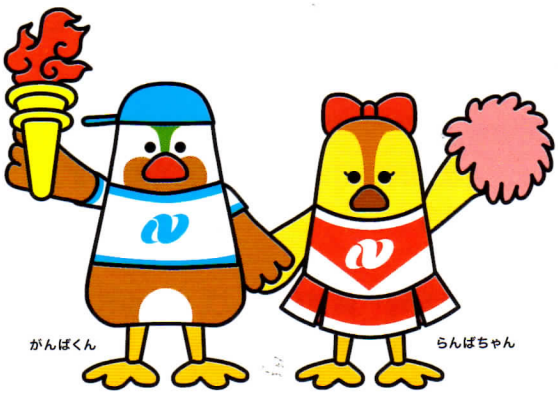
ラベルのついた確かな製品を選びましょう

これが安心の印です。
「試験確認済証」
ガソリン携行缶には、使用上の注意事項が表示されています。
良く読んで安全にお使い下さい。
このラベルは、消防法による容器性能試験に合格したガソリン携行缶に貼付されています。



危険物保安技術協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13ヒューリック神谷町ビル
TEL. 03-3436-2353

携帯・スマートフォンで！ PCで！ http://www.khk-syoubou.or.jp/
危険物保安技術 検索



長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

長崎がんばらんば大会 2014

第14回全国障害者スポーツ大会 平成26年11月1日(土)～11月3日(月・祝)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

「君の夢　はばたけ今　ながさきから」をスローガンに第 69 回国民体育大会が長崎県で開催されます。本県では、昭和44年の第24回大会以来、2度目の開催となります。今回のスローガンは選手の夢、スタッフの夢、みんなの夢が、平和の象徴である鳩のように空高く羽ばたいて実現するように、との願いが込められています。

マスコットの「がんばくん」と「らんばちゃん」は長崎県の県民鳥であり、仲の良い鳥として知られる「オシドリ」がモチーフ。体操着姿で元気いっぱいのスポーツ少年、大会へ向けて張り切る「がんばくん」と、チアリーダー姿で元気いっぱいの少女「らんばちゃん」です。

詳しくは
長崎がんばらんば国体佐世保市実行委員会
TEL:0956-76-7103　FAX:0956-76-7104